

第9号様式別添

1 事業の導入及び取組の経過

当町は、ほぼ平坦な地形を豊かに丘陵地で包んだ自然環境であるが、伊勢自動車道沿いの中山間地域では、イノシシ、ニホンジカによる農作物等への被害が多かったため、緊急捕獲の実施及び侵入防止柵の設置を行った。

2 当初事業実施計画の目標が未達成である原因及び問題点

被害金額が増加している原因については、鳥類による被害が町内全域で多かったためである。なお、侵入防止柵を設置した地域では被害が減少している。

3 実績及び改善計画

・被害防止計画の達成状況に係る部分

区分	指標	対象鳥獣	被害防止計画の達成状況					達成率 (%)	備考
			目標 (28年)	基準年度 の実績値 (24年)	1年目 (26年)	2年目 (27年)	3年目 (28年)		
被害防止 計画(被 害の軽減 目標)	被害金額 (千円)	イノシシ	1,044	1,160	136	407	921		
		ニホンジカ			0	36	0		
		ニホンザル			0	0	0		
		アライグマ			0	7	0		
		カラス			841	727	2,093		
		ムクドリ			396	270	333		
		計			1,373	1,447	3,347		
被害面積 (ha)		イノシシ	12.8	14.2	2.1	0.2	0.5		
		ニホンジカ			0	0.0	0		
		ニホンザル			0	0	0		
		アライグマ			0	0.0	0		
		カラス			9.6	0.8	0.8		
		ムクドリ			5.4	0.1	0.2		
		計			17.1	1.1	1.4		

- (注) 1 指標は、被害防止計画と整合をとること。  
 2 被害防止計画の達成状況のうち、「目標」、「基準年度の実績」は被害防止計画から転記し、それ以外は被害防止計画に基づく取組実績を記載すること。  
 3 各指標ごとの合計も記載すること。  
 4 被害防止計画を見直し、目標の変更を行った場合は、備考欄に新たな目標を記載すること。

・施設の利用計画に係る部分(整備事業を実施した場合に記載)

区分	指標	事業実施後の状況					改善計画			
		目標 (28年)	計画策定 時 (26年)	1年目 (28年)	2年目 ( 年)	3年目 ( 年)	改善計画 策定 (29年)	1年目 (29年)	2年目 (30年)	3年目 (31年)
被害防止 施設(侵 入防止 柵)	利用量 (km、ha等)	集落から要望があれば、侵入防止柵の設置に取り組む	0m	476m			476m	476m	476m	476m
	利用率 (%)			100%			100%	100%	100%	100%
	収支差 (千円)									
	収支率 (%)									
	累積赤字 (千円)									

- (注) 1 利用率は、当該年度の数字を目標年度の数字で除して求める。  
 2 収入率は、収入/支出×100とする  
 3 目標年が4年以上の取組等、必要に応じて、適宜欄を追加して記入すること  
 4 協議会の構成員が申請する場合は、参画協議会名も記載すること  
 5 区分の欄は、鳥獣被害防止施設、食肉利用等施設、捕獲技術高度化施設等と記載すること

4 改善方策

(要領に定める事業評価報告書の事業効果及び評価の欄を参照し、問題点の解決必要な方策を事業内容の見直しを含め具体的に記述すること。)

鳥類による被害は、町内全域で恒常的に発生しており、捕獲・追い払いに力を入れていく。

5 改善計画を実施するための推進体制

鳥類による被害が大きくなっており、今まで以上に重点的に捕獲体制を取る。

6 学識経験者等第三者の意見欄

鳥類被害が原因と明らかになっているとのことであるので、改善方策を実施することで被害軽減につなげていただきたい。